

地域ケア推進会議

鹿児島市地域包括支援センター 武・田上

【計画】

作成担当者： 山内 香代子

開催日時	令和02年02月26日 14:00 ~ 15:30	開催場所	田上福祉館
参加者	民生委員児童委員協議会：5人、社会福祉法人：2人、居宅介護支援事業所：2人、社会福祉協議会：1人、地域包括支援センター職員：11人		
	総数 21人		
内容	テーマ	認知症の早期対応への取り組みと生活支援コーディネーターからの報告について	
	目的	地域包括支援ネットワークの構築、地域づくり・資源開発	
	概要	①生活支援コーディネーターより報告 ②これまでの地域ケア推進会議の振り返り ③認知症の早期対応への取り組みについて	

【結果】

開催日時	令和02年02月26日 14:00 ~ 15:30	開催場所	田上福祉館
参加者	民生委員児童委員協議会：5人、社会福祉法人：2人、居宅介護支援事業所：2人、社会福祉協議会：1人、地域包括支援センター職員：11人		
	総数 21人		
内容	①介護サービス事業所活用支援事業・支えあい活動補助金について生活支援コーディネーターより説明。 介護サービス事業所活用支援事業について、今後の取り組みやマッチング状況の報告を行うことで、事業の普及やマッチングの促進を図ることができた。また、支えあい活動補助金について、登録団体の紹介を行い、圏域の社会資源について理解を深めることができた。		
	②出席者の交代があったため、これまでの地域ケア推進会議について資料を用いて説明。新しい出席者に向けて、これまでの会議の進捗を報告することで、地域ケア推進会議に対するの共通認識を持つことができ、その後の会議をスムーズに運べることができた。		
	③認知症初期集中支援事業にて対応した2事例を紹介。紹介した事例を通して、または実際に関わったケースを通して、手遅れ型の支援にならないために、「どうして早く相談にならなかったのか」「どうやったら早く相談に繋がれるか」「地域、事業所、市、それぞれができることは何か」について2グループに分かれて意見交換を実施。地域の現状や課題等を把握することができた。 特に独居の方で家族が遠方に住む場合や本人が困っていない場合に、関わっていく困難さを感じていることが分かった。介護者となる子供世代にも認知症に関する理解を広げたいためには、企業や児童・学校関係に対してもより一層普及啓発していく必要性があり、行政も含めた全圏域・全世代へ取り組むべき課題との認識を持つことができた。		
今後の課題など	・認知症の早期発見・対応には、多世代に対して周知広報が必要。 ・一部のコミュニティ協議会では認知症サポーター養成講座を行う等認知症に対する取り組みが見られたが、圏域全体としては具体的な取り組みに至っていない。		